

---

# 作戦実行前

市丸乱菊

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

作戦実行前

### 【コード】

N8029H

### 【作者名】

市丸乱菊

### 【あらすじ】

藍染から作戦を聞いた市丸が実行にうつすまでを書いています。

「はあ。」

次の作戦か……………

三番隊隊舎の執務室。

隊長椅子に腰掛けて考えていた。

あんまり乗り気じゃうなあ……………

正直ボクあんまり十番隊と絡みとうないのに…………

藍染隊長も無理させるわ…………

思わずため息が出る。

乱菊の灰猫やったらイズルの侘助には相性で勝てるとして…………

中央四十六室に戻ってくる可能性もある。

「うーん……………」

市丸の脳裏に、自分の神鎧を受け止めた乱菊の姿が蘇る。

「…………刀をお退き下さい。」

…………市丸隊長

退かなれなければ…………

ここからは私がお相手致します…………！」

せやから絡むの嫌やねん…………

もしもあの時、灰猫が折れとつたら…………

自分が自分の大切な人を殺してしまっていたかもしれない。

震えていた細い腕。

「……………」

（ギン。次は日番谷隊長を出来るだけ遠ざけてくれ。）

（え？なんでそんなまわりくどいことしはるんですか？）

(邪魔ばかり入るからね。私が雛森くんを殺る。

そして日番谷隊長が戻ってきて罪を着せる。)

(ほんまお人が悪いなあ。藍染隊長は・・・)

「只今戻りました。市丸隊長。」

そう言つて執務室に入ってきた吉良。

「イッヅル、

十番隊副隊長さんを引き止めてほしいんや。」

(すみません。藍染隊長。やっぱりあかんわ)

「え？松本さんを・・・ですか？」

「そつち頼むで。」

「わかりました・・・。」

頼むで乱菊。

藍染隊長の前に現れんといてな……………

「行こか……。イヅル」

「はい」

こうして……………

二人の歯車は交わる事がないまま回り続ける……………

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n8029h/>

---

作戦実行前

2010年10月10日07時07分発行